

健康すいた21（第3次）進捗確認シート（地域団体）

参考資料3

第3次計画における位置づけ					ライフステージ			取組名	内容	令和5年度未までの取組	取組の課題や今後の方向性	重点ターゲットに対する工夫・アプローチ方法	団体名
ページ番号	分野	市民のめざす姿	取組の方向性	地域団体等の取組	次世代	就労世代	高齢世代						
<b>分野5 歯と口腔の健康</b>													
125	5 歯と口腔の健康	2 自分に合ったセルフケアの方法を身につける	(1) ライフステージに応じた指導及び周知啓発 ア 次世代	学校等において、口腔ケアに努めている児童・生徒を表彰	○			むし歯予防キャンペーン	公立保育園、幼稚園、小学校、中学校、吹田支援学校にむし歯予防ポスター、作文を募集し、優秀者の表彰及びポスターは全作品を9月の健康展の会場に掲示します。	令和5年度はポスター230枚・作文9編の応募があった。	継続	該当無し	吹田市歯科医師会
125	5 歯と口腔の健康	2 自分に合ったセルフケアの方法を身につける	(1) ライフステージに応じた指導及び周知啓発 ア 次世代	学校等において、口腔ケアに努めている児童・生徒を表彰	○			歯科保健表彰	公立幼・小・中学校、吹田支援学校及び障がい者施設利用者で、口腔健康管理に努力している方を表彰します。	令和5年度は幼稚園、小・中学校、支援学校で87名の参加があった。	令和6年度より保育園（認定こども園含む）も表彰対象とする	該当無し	吹田市歯科医師会
125	5 歯と口腔の健康	2 自分に合ったセルフケアの方法を身につける	(1) ライフステージに応じた指導及び周知啓発 ア 次世代	幼児・小学生を対象に「かむ・飲み込む」機能と全身の関わりについて食育の一環として体験型の学習を実施	○			口腔ケアセンター事業 「歯の学校」	「歯の小学校」「歯の幼稚園・保育園」では、吹田市の小学校3年生、幼稚園児・保育園児（5歳児）、子供会等の10名までの団体を対象として、「噛む・飲み込む」機能と全身の関わりについて「食育」の一環として子どもたちの記憶に残る体験型の学習をします。	令和5年度は学校・園、個人参加を含わせて、676名の参加があった。	継続	該当無し	吹田市歯科医師会
125	5 歯と口腔の健康	2 自分に合ったセルフケアの方法を身につける	(1) ライフステージに応じた指導及び周知啓発 ウ 高齢世代	8020運動を推進し、高齢者のよい歯のコンクールを実施			○	高齢者よい歯のコンクール	80歳以上の方で20本以上の歯を有する方（8020達成者）を表彰します。	令和5年度は77名の参加があった。	継続	各診療所で周知し実施	吹田市歯科医師会
125	5 歯と口腔の健康	2 自分に合ったセルフケアの方法を身につける	(1) ライフステージに応じた指導及び周知啓発 ウ 高齢世代	口腔機能低下を見逃さず、オーラルフレイル早期発見のための調査を実施			○	オーラルフレイル調査	歯科医院に通院されている65歳以上の方の口腔機能評価を行い、オーラルフレイルを発見しフレイル予防につなぐ。	令和5年度はオーラルフレイル健康調査として1565件実施した。	継続	①当会HP、各医院等で周知した	吹田市歯科医師会
125	5 歯と口腔の健康	2 自分に合ったセルフケアの方法を身につける	(1) ライフステージに応じた指導及び周知啓発 ウ 高齢世代	飲み込む機能の維持や改善のための教室を実施			○	口腔ケアセンター事業 「お口の健康体操教室」	飲み込む機能は年齢や病気の影響で低下します。歯科衛生士と音楽療法士が行う楽しい健口体操にて、歌ったり、口のまわりの筋肉を使った体操をすることで飲み込む機能の維持改善を図ります。	令和5年度は、12回開催し297名の参加があった。	継続	①当会HP、各医院等で周知した ② 歯科医師による講演 ③ 歯科衛生士による口腔機能訓練・指導	吹田市歯科医師会
126	5 歯と口腔の健康	2 自分に合ったセルフケアの方法を身につける	(1) ライフステージに応じた指導及び周知啓発 エ 全世代	歯や口腔ケアに関する知識の普及啓発	○	○	○	口腔ケアセンター事業 「歯とお口の健康テスト」	常駐する歯科衛生士が、歯みがき方法や口腔機能等の相談を受ける。週替わりで口腔ケアセンターの細菌カウンターや咬合圧等の口腔に関する測定機器を体験することができる。	令和5年度は363名の市民に対して実施した。	継続	①当会HP、各医院等で周知した ③ 歯科衛生士による口腔機能訓練・指導	吹田市歯科医師会
126	5 歯と口腔の健康	2 自分に合ったセルフケアの方法を身につける	(1) ライフステージに応じた指導及び周知啓発 エ 全世代	歯や口腔ケアに関する知識の普及啓発			○	出前講演	市民の要望に応じて吹田市歯科医師会会員が出向き、歯や口の健康について講演します。	令和5年度は22件申し込みがあり、会員を派遣した。	継続	①当会HP、各医院等で周知した ② 歯科医師による講演	吹田市歯科医師会

健康すいた21（第3次）進捗確認シート（地域団体）

参考資料3

第3次計画における位置づけ					ライフステージ			取組名	内容	令和5年度末までの取組	取組の課題や今後の方向性	重点ターゲットに対する工夫・アプローチ方法	団体名
ページ番号	分野	市民のめざす姿	取組の方向性	地域団体等の取組	次世代	就労世代	高齢世代						
126	5 歯と口腔の健康	2 自分に合ったセルフケアの方法を身につける	(1) ライフステージに応じた指導及び周知啓発工 全世代	歯や口腔ケアに関する知識の普及啓発	○			口腔ケアセンター事業「赤ちゃんの歯の広場」	「赤ちゃんの歯の広場」では、4ヶ月～1歳までの乳児とその保護者を対象にむし歯予防のお話を歯科医師・歯科衛生士から行い、希望の方には歯科医師が、お子様保護者の方のお口の中もチェックします。	令和5年度は24回開催し266組が参加した。	継続	①当会HP、各医院等で周知した ③ 歯科衛生士による講話と口腔機能訓練・指導	吹田市歯科医師会
126	5 歯と口腔の健康	2 自分に合ったセルフケアの方法を身につける	(1) ライフステージに応じた指導及び周知啓発工 全世代	障がいのある方などを対象に歯みがきやお口の機能訓練を指導	○	○	○	口腔ケアセンター事業「障がい者（児）のお口のケアとリハビリテーション」	障がいのある方で本人や家族が不安に思っている方、また事故や病気などで身体が不自由になられた方を対象に、食べ物の飲み込みにもや歯みがきの指導等やお口の機能訓練の指導を行います。	令和5年度は12回開催し、31名の参加があった。	継続	①当会HP、各医院等で承知した ③ 歯科衛生士による口腔機能訓練・指導	吹田市歯科医師会
126	5 歯と口腔の健康	2 自分に合ったセルフケアの方法を身につける	(1) ライフステージに応じた指導及び周知啓発工 全世代	障がいのある方などを対象に歯みがきやお口の機能訓練を指導		○	○	口腔ケアセンター事業「介護職向け口腔ケア実践講座」	介護職員等に、講話と介護現場での歯みがきや入れ歯の清掃を実習をすることにより、利用者様の気持ちに寄り添えるような口腔ケアの方法を体験していただく。歯科大学で使用している実習用のマネキンを使った実習や、相互実習をする。	令和5年度は3回開催し、28名の参加があった。	継続	①当会HP、各医院等で周知した ③ 歯科医師による講話と歯科衛生士による実習	吹田市歯科医師会
126	5 歯と口腔の健康	2 自分に合ったセルフケアの方法を身につける	(1) ライフステージに応じた指導及び周知啓発工 全世代	口腔機能に関し高齢者や要介護者の家族への個別相談	○	○	○	口腔ケアセンター事業「イキイキお口のケア相談」	口腔機能に問題や不安のある高齢者または要介護のご家族の方の相談を歯科医師が個別に受ける。	令和5年度は12回開催し、152名の参加があった。	継続	①当会HP、各医院等で承知した ③ 歯科衛生士による口腔機能訓練・指導	吹田市歯科医師会

健康すいた21（第3次）進捗確認シート（地域団体）

参考資料3

第3次計画における位置づけ					ライフステージ			取組名	内容	令和5年度未までの取組	取組の課題や今後の方向性	重点ターゲットに対する工夫・アプローチ方法	団体名		
ページ番号	分野	市民のめざす姿	取組の方向性	地域団体等の取組	次世代	就労世代	高齢世代								
<b>分野6 たばこ</b>															
132	6	たばこ	1 喫煙をしない、受動喫煙をさせない	(1) たばこが吸いにくい雰囲気醸成 ア 多様な主体との連携によるスモークフリーの推進	生活習慣病や歯と口腔の健康への影響などについて健診時に指導		○	○	吹田市歯科健康診査	生活習慣病及び喫煙による歯と口腔の健康づくりへの影響の防止のために、吹田市成人歯科健康診査にて、喫煙有無を確認し口腔とたばこの害について指導する。	令和5年度は、23028名の市民が受診した。	継続	各歯科医院で指導	吹田市歯科医師会	
132	6	たばこ	1 喫煙をしない、受動喫煙をさせない	(1) たばこが吸いにくい雰囲気醸成 ア 多様な主体との連携によるスモークフリーの推進	イベントや行事においてスモークフリーを周知啓発		○	○	スモークフリーの推進	学校行事、地域行事またクラブ活動等で保護者が来校するとき、学校内および周辺道路での禁煙を周知徹底しています。	スモークフリーの推進	学校行事、地域行事またクラブ活動等で保護者が来校するとき、学校内および周辺道路での禁煙を周知徹底しています。	該当なし	吹田市PTA協議会	
132	6	たばこ	1 喫煙をしない、受動喫煙をさせない	(1) たばこが吸いにくい雰囲気醸成 ア 多様な主体との連携によるスモークフリーの推進	イベントや行事においてスモークフリーを周知啓発		○	○	○	チャレンジDAY他	健康啓発イベントに加えて、楽しみながら体を動かすイベント等において、スモークフリーの啓発ポスターの掲示を行っている。	・多くの団体の協力により、各種スポーツ体験、食育、健康ミニ講座、体力測定、健都からの発信、がん健診や受動喫煙防止の啓発等を実施 ・令和3年度からは各団体に企画から運営まで担ってもらっている	・参加者が多く、各団体のスタッフだけでは運営が厳しいため、多くの大学生・高校生ボランティアが協力してくれている ・健康啓発ブースを増やすためには企業や団体、また専門家の協力を得る必要がある	・時間がなく健康づくりに取り組めない就労世代 ・近隣の保育園・幼稚園・小学校にチラシ配布やポスター掲示を依頼している ・ターゲットが就労世代なので吹田市のSNS等も活用する	吹田市健康づくり推進事業団
132	6	たばこ	1 喫煙をしない、受動喫煙をさせない	(1) たばこが吸いにくい雰囲気醸成 ア 多様な主体との連携によるスモークフリーの推進	子ども編集部の取材によるスモークフリーの周知啓発		○	○	健康情報の収集と提供	子ども編集部が企業のたばこ対策の取組について取材し、子どもがたばこの害について学ぶとともにスモークフリーシートの周知啓発を行う。	実施せず			吹田市健康づくり推進事業団	
132	6	たばこ	1 喫煙をしない、受動喫煙をさせない	(1) たばこが吸いにくい雰囲気醸成 ア 多様な主体との連携によるスモークフリーの推進	スモークフリーへの協賛		○	○	スモークフリーの推進	市と協力し、スモークフリーへの協賛の推進に努める。	・スモークフリーちらしの配架（常時） ・会報誌へのスモークフリーに関する記事の掲載（1回）	継続	—	吹田商工会議所	
133	6	たばこ	1 喫煙をしない、受動喫煙をさせない	(1) たばこが吸いにくい雰囲気醸成 イ 法律・条例による屋内禁煙の徹底と屋外受動喫煙の減少	法律・条例に基づく屋内禁煙の徹底に向けた周知啓発		○	○	法律・条例の周知啓発	市と協力し、法律・条例の周知啓発に努める。	令和5年度は取組なし		具体的な取り組みについて検討が必要	吹田商工会議所	
133	6	たばこ	1 喫煙をしない、受動喫煙をさせない	(2) 喫煙者への禁煙支援	禁煙に向けた啓発や必要に応じた禁煙外来の紹介等		○	○	薬局での取り組み	各薬局で禁煙を呼びかけ、必要に応じて禁煙外来を紹介します。	オール薬剤師”禁煙ひと声運動”の実施。	継続	—	吹田市薬剤師会	
133	6	たばこ	1 喫煙をしない、受動喫煙をさせない	(2) 喫煙者への禁煙支援	禁煙支援の実施		○	○	薬局での取り組み	各薬局で必要に応じてニコチンガム・ニコチンパッチ等薬品の紹介または販売を行い、禁煙支援を行います。	薬局に禁煙チャレンジポスターの掲示	継続	—	吹田市薬剤師会	
134	6	たばこ	1 喫煙をしない、受動喫煙をさせない	(3) 未成年者の喫煙防止のための教育	市と連携し、喫煙と健康に関する教育を実施		○		小中学校での禁煙指導	学校薬剤師の担当校の授業の中でたばこの害について指導を行います。	・小学6年生（2月、9回）829人受講、（1月、11回）1010人受講、（11月、1回）181人受講、（12月、5回）530人受講、（10月、1回）41人受講、（9月、1回）110人受講・小学5年生（11月、1回）49人受講、（12月、2回）166人受講、（1月、1回）32人受講、（2月、1回）30人受講、・中学1年生（11月、1回）84人受講、（12月、2回）293人受講、（1月、1回）115人受講、（2月、1回）120人受講、（7月、1回）159人受講、（3月、2回）432人受講、・中学2年生（12月、4回）729人受講、（11月、1回）141人受講、（10月、1回）119人受講	継続	受講後に、アンケートで、将来タバコを吸わないことへの意識づけをする。	吹田市薬剤師会	

健康すいた21（第3次）進捗確認シート（地域団体）

参考資料3

第3次計画における位置づけ					ライフステージ			取組名	内容	令和5年度未までの取組	取組の課題や今後の方向性	重点ターゲットに対する工夫・アプローチ方法	団体名
ページ番号	分野	市民のめざす姿	取組の方向性	地域団体等の取組	次世代	就労世代	高齢世代						
<b>分野7 アルコール</b>													
140	7 アルコール	1 20歳未満の人や妊婦は飲酒しない	(1) 20歳未満の人への教育及び妊婦への周知啓発	動画やちらし等を活用した周知啓発	○			小中学校での授業	学校薬剤師の担当校での授業の中で、薬物依存に関連して飲酒についても指導します。	・小学6年生（2月、5回）515人受講、（1月、4回）437人受講、（12月、2回）132人受講、・中学1年生（12月、2回）293人受講、（11月、1回）84人受講、（1月、1回）115人受講、（2月、1回）120人受講、（3月、1回）225人受講、（7月、1回）159人受講、・中学2年生（12月、3回）575人受講、（11月、1回）141人受講、・中学3年生（12月、1回）133人受講	継続	—	吹田市薬剤師会
141	7 アルコール	2 アルコールの害を理解し、適量飲酒を心がける	(1) 多量飲酒による心身への影響についての周知啓発	多量飲酒による身体への影響についての周知啓発	○	○	○	吹田市断酒会の広報、周知など	吹田市断酒会は、吹田市社会福祉協議会の組織構成会員です。アルコール問題について、地域の福祉に取り組んでおられる諸機関と連携しながら、啓発活動と回復支援に資することが目的です。	多様な団体との意見交換会に、断酒会も参加することで、断酒会の紹介や取り組み内容の周知を図った。断酒会の広報誌を配架して、広報周知に協力した。	今後も継続して取り組んでいく。	—	吹田市社会福祉協議会